

医療審議会（保健医療計画部会）	資料 2-6
令和5年12月21日（木）	

病床機能再編支援事業計画書（単独病院機能再編支援）

医療機関名	公立豊岡病院組合立豊岡病院日高医療センター
開設者	公立豊岡病院組合 管理者 八木聡
住所・所在地	兵庫県豊岡市日高町岩中81

1 病床機能再編計画

R5年度：急性期病床60床について、 非耐震建築物 のため入院受入休止(休床)
R6年度：急性期病床60床を削減、回復期病床19床を新設。 非耐震建築物 のため休床を継続。
R7年度：病棟整備工事施工(9月～2月)、 完工後に非耐震建築物より病床機能を移転。
R8年度：回復期病床19床に入院受入開始(稼働)

2 病床機能再編の目的及び地域医療構想の実現との関係

地域医療構想において、但馬圏域では、急性期病床が過剰、回復期病床が不足となっており、バランスの取れた医療提供体制を構築する必要がある。今回、過剰な急性期病床を減らし回復期病床へ転換することで、圏域における医療資源の適正化を図る。
--

3 病床機能再編により地域医療の機能に支障をきたさない理由（定量的・定性的に）

R4年度入院患者数は29人/日（内訳：内科10、整形3、眼科14、人工透析2）。眼科はR5年5月に豊岡病院に病床を確保し、患者受け入れ体制を整備済みである。眼科を除く入院患者は15名/日程度であり、近隣医療機関（出石医療センター、朝来医療センター）の病床稼働率が50%～75%と低いことから、これらの医療機関で患者の受け入れが可能である。

4 病床機能再編後の活用方策

新たに整備する回復期病床19床については、2040年以降に需要が最大化する在宅医療患者のバックベッドとして活用する。
--

1	再編前の稼働病床数	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計	うち対象3区分（※3）の合計
	① 平成30年度病床機能報告	0	44	0	0	0	44	44
② 令和2年4月1日時点（※1）	0	44	0	0	0	44	44	
③ 再編前病床数＝②（※2）	0	44	0	0	0	44	44	

- ※1 各機能ごとの数値については、地域医療構想調整会議にて確認されていること。
令和2年4月1日時点で病床数の変化があった場合は、変更前の病床数を記載すること。
平成30年度病床機能報告から令和2年4月1日までの間に、病床数の変更がない場合は、①と同じ値を記載すること。
- ※2 ①平成30年度病床機能報告時又は②令和2年4月1日時点の対象3区分合計のいずれか少ない方を基準とする。
- ※3 対象3区分＝高度急性期、急性期、慢性期（以下同様）

2	再編後の許可病床数 （＝再編後の許可病床のうち休棟を除いた病床数）	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟	合計	うち対象3区分の合計
		0	0	19	0	0	19	0

※対象3区分の病床数の合計が減っていません。

3	他の医療機関との病床融通数 （※4）	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	対象3区分の合計
		0	10	0	0	10
	うち同一開設者の医療機関との病床融通数	(0)	(10)	(0)	(0)	(10)

- ※4 病院統合や地域医療連携推進法人の病床融通制度等を活用し、他の医療機関から病床の融通を受けた場合はマイナス表記、病床を融通した場合はプラス表記とすること。
また、「（参考）病床融通に関する概要」シートに関連する医療機関の病床数を記載すること。

4	対象3区分から 回復期又は介護医療院へ	回復期	介護医療院	合計

	目録別外転換病床数	19	0	19
--	-----------	----	---	----

5	減少病床数 (1の③-2)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計	うち対象3区分の合計
		0	44	▲ 19	0	0	25	44

6	過去に 令和2年度病床機能再編支援補助金 及び本事業で支給済の病床数	支給済病床数	5.減少数	4.うち転換数	6.支給済数	3.うち他院への 融通数	支給対象
		0	44	19	0	(10)	15

7	再編前の許可病床数	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計	うち対象3区分の合計
	① 平成30年度病床機能報告	0	63	0	0	36	99	63
	② 令和2年4月1日時点(※5)	0	63	0	0	36	99	63

※5 平成30年度病床機能報告から令和2年4月1日までの間に、病床数の変更がない場合は、①と同じ値を記載すること。

8	対象3区分の病棟の 年間在棟患者延べ数(人)	高度急性期	急性期	慢性期	合計
	① 平成30年度病床機能報告(※6)	0	7,706	0	7,706
	② 令和2年4月1日時点(※7)				0

※6 対象3区分の病棟に係る平成30年度病床機能報告の報告様式1(病棟票)の(48)欄の数値を計上すること。なお、平成30年度病床機能報告の報告様式1(病棟票)において、「過去1年間の間に病棟の再編・見直しあり」と報告した病棟の年間在棟患者延べ数については、以下の式により補正して計上すること。

○ 補正後の年間在棟患者延べ数 = 年間在棟患者延べ数(48)欄に記載された数値 ÷ 報告可能な対象期間(月単位) × 12

(注) 報告可能な対象期間(月単位)は、平成30年度病床機能報告で報告した月数とすること。

例) 報告可能な対象期間を「平成29年7月1日～平成30年12月末日」とした場合 ⇒ 報告可能な対象期間(月単位) = 6

※7 7の①と7の②の値が同じ場合は8の②の入力は不要。

9	<選択>	対象3区分の病床稼働率	一日平均実働病床数	適用	A
	A 平成30年度病床機能報告	33.5%	21		
	B 令和2年4月1日時点	0.0%	0		

10	再編前の対象3区分の許可病床のうち休棟中を除いた病床数から一日平均実働病床数までの減少分に係る支給額	単価(千円)	病床数	支給額(千円)
	1,140	15	17,100	

11	一日平均実働病床数から再編後の対象3区分の許可病床数までの減少分に係る支給額	単価(千円)	病床数	支給額(千円)
	2,280	0	0	

要件 審査	90%減少チェック	○
----------	-----------	---

12	支給申請額(千円)	17,100
----	-----------	--------